

2022年度（第37回）レーザー安全スクールを実施

当協会は、第37回レーザー安全スクール第1期を2022年12月12日～16日、第2期を2023年1月23日～27日に東京・芝公園の機械振興会館にて実施した。

直近の2年間は新型コロナ感染拡大の状況を受け、eラーニング形式によるオンラインセミナーとして開催していたが、今回は感染状況が落ち着きを見せ始めていることを受け、感染対策を徹底した上で3年ぶりに対面形式での開催となった。

本スクールはレーザー機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザー機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザースクール」、「レーザー安全スクール」と改称し、本年度37回目として実施した。この間、内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザー製品の安全基準」および関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」等を網羅し、光加工、光通信、レーザー医療等の各分野に従事するレーザー機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えるものとしている。

受講者数を各コース別に下表に示す。今年は昨年までに比べて受講者数がかかなり減少しているが、未だ対面形式のセミナーへの参加を認めていない企業も多い中での開催であり、またギリギリのタイミングまで対面形式での実施を模索した中での開催となり周知期間が短くなったことも、受講者数が伸びなかった原因の一つになったと考えている。

2023年度はコロナ以前（第34回まで）の開催形式に戻し、10月～11月に対面形式で開催すること前提に準備を進めていく予定である。

レーザー安全スクール コース別受講者数：単位（名）

コース名	今回*	36回**	35回**	34回*
I コース：光・レーザー概論	27	45	35	45
S1 コース：レーザー工学の基礎	44	120	83	122
S2 コース：レーザー安全の基礎	102	218	157	236
S3 コース：レーザー応用機器の安全	37	78	41	91
S4 コース：大出力レーザー機器の安全	40	81	74	105
M1 コース：レーザー安全管理者	27	84	70	96
M2 コース：レーザー安全技術者	20	48	30	51
合計（各コース受講者数の累計）	297	674	490	746

*今回および第34回は対面形式・2期

**第35回36回はオンライン